

平成 29 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	83
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	まちづくり団体活動助成事業					
予算科目	2 款	1 項	10 目	企画費		
予算事業名	まちづくり活動助成金					
総合計画での位置づけ	自主的な住民活動への支援／多彩な町民交流の拡大					
担当課	経営企画課		担当課長	安倍 達也		
事業担当者	久芳 浩二		一次評価者	安倍 達也		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	久山町まちづくり条例第32条、まちづくり活動助成金交付要綱					
事業の対象	まちづくり団体					
事業の目的	まちづくり団体の自主的な活動に対し助成金を交付することによって、各団体の組織強化及び活動を円滑に行えるよう支援する。					
実施期間	開始年度	平成 25 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	まちづくり団体登録認定及び活動の推進並びに団体育成により、住民による自主的なまちづくり活動の充実と地域の活性化を図る。					
目的達成の指標	交流人口数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	人	2,000	3,500	4,000	4,500
	実績	人	3,000	6,000		
指標設定の考え方	まちづくり活動の充実により地域の活性化が図られたかどうかを判断するため、計画事業による交流人口数は賑わいそのものである。					
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり団体認定基準の厳格化が今以上に必要。 ・まちづくり活動助成金交付要綱の厳格化が必要。 ・助成期間などの再検討 					
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金の上限を見直した。 					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 116 円

※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.03	0.03	0.04
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費	0	0	0
	人件費(①×②-③)	218	221	294
事業費	直接事業費	300	800	800
	人件費	218	221	294
	合 計	518	1,021	1,094
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	518	1,021	1,094
	合 計	518	1,021	1,094

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	300	800	800	800	
実 績	300	283			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
まちづくり団体数	団体			2	4
		2		2	
団体参加者数	人			30	45
		30		30	
かかし展示台数	体			350	400
		300		400	
イベント回数	回			2	4
		12		2	

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 64 円

※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.03	0.03	0.04
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費	0	0	
	人件費(①×②-③)	203	221	285
事業費	直接事業費	300	800	283
	人件費	203	221	285
	合 計	503	1,021	568
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	503	1,021	568
	合 計	503	1,021	568

実施備忘録

- ・補助金の算定基準を検討する。
- ・助成金の交付期間の制定を検討する必要があるのではないか。

自己評価	評価者	久芳 浩二
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

地域の力で地域を盛り上げることは、その地域の活性化において継続性が期待できるものである。本事業においても、地域で結成された組織が地域の活性化を求めて行われる活動に対し、その一助となるよう金銭的補助を行うものとなっており、事業費の半分(20万円を限度)を助成するものとなっている。申請から完了まで規則に沿って書類等が整理され、負担割合も適正であると考えます。また、事業の効果についても一定の成果が出されており、今後とも地域づくりを検討している団体に対し助成することによって同様の効果を期待することができるものと思われる。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

現在の助成制度について、助成期間や金額、助成割合等細かな制度変更が必要と思われる。支援制度自体は、現在の支援で一定の効果が現れているので概ね現状維持で良いと考える。現在活動中の団体は上久原区の2団体であるが、8行政区それぞれに同じようにまちづくり活動する団体ができるよう支援する必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	安倍 達也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か？	4 3 3 5	B	
2. 町が実施する必要があるか？	4 5 5		B
3. 実施内容は適切か？			
①有効性	5 5 5		
②効率性	5 5 5	A	
③公平性・透明性	5 5 5		A

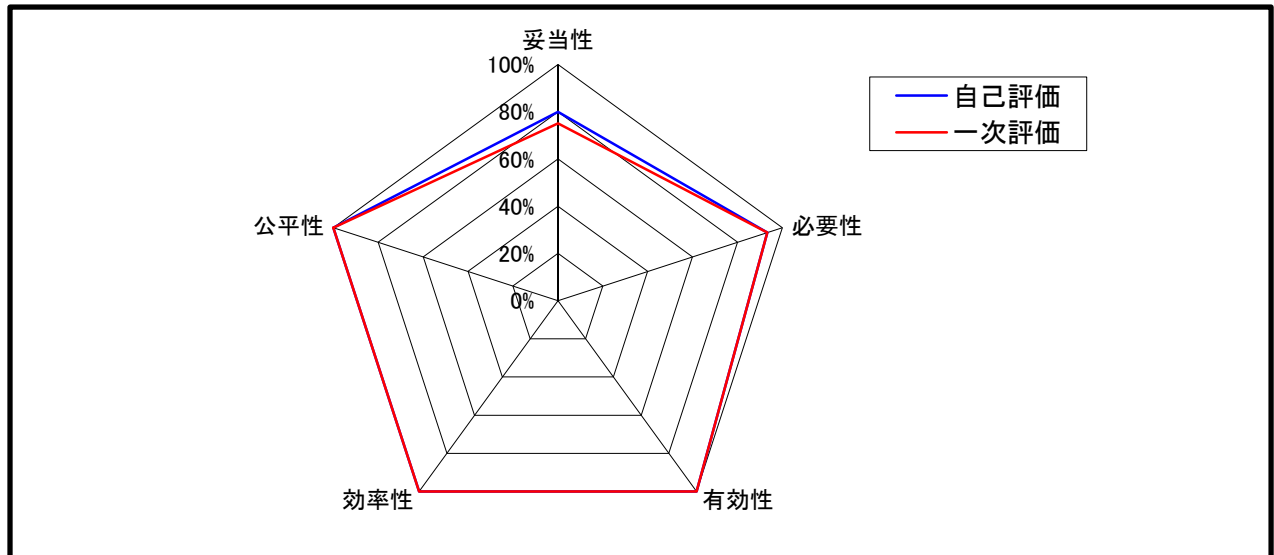
今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

内容としては、まちづくり団体の自主的な活動に対し助成金を交付することにより、各団体の組織強化及び活動を円滑に行えるよう支援し地域活性化を図るものである。この助成金交付団体は、実際にテレビ等の広報媒体でも取り上げられ、県内外からの集客力の向上により、町の魅力発信に貢献している。しかしながら、申請団体数はわずか2団体と少ないため、ニーズが低いのか、助成金制度の周知が足りないのかを見極め、全行政区に渡り団体数の増加を図っていく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	安倍 達也
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

一次評価のとおり

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--